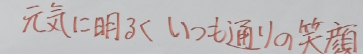


課題解決に向け活発に意見や情報を交換



- 桑沢 政子(福島県・白河組合)
- 中山 千恵子(埼玉県・川口組合)
- 覚張 京子(神奈川県・かながわ組合)
- 西谷 明子(東海・藤枝組合)
- 落合 久子(中国・福山組合)
- 松岡 シズ子(九州中部・熊本組合)

今月号では、11月号で紹介した全協主催の女性部リーダー研修(9月26、27日、東京都港区芝SIAビル会議室で開催)のメインである『グループ研究』について特集する。

グループ研究では、全国の組合から選ばれた30名の女性部リーダーがA・S・Eの5グループに分かれ、設定されたテーマについて、参加者それぞれで体験を踏まえたディスカッションを行った後、グループごとに思い思いの組合名をつけて、グループ討議の成果をそれぞれ書き出して発表し、参加者同士の質疑応答などを通じて課題解決への理解を深めた。

- 五十畑 洋子(栃木県・栃木組合)
- 吉田 倫子(新千葉県・千葉県組合)
- 日野谷 紀美子(山梨県・新山梨組合)
- 酒井 泰子(関西・伏見組合)
- 小島 洋子(中国・福山組合)
- 丸尾 カズコ(九州中部・熊本組合)

※ 対策 色々な情報を得て発信する場
→ 発信場所のバリエーションを多様に
小さくても未来を見て強い組織にする
→ 一歩一歩ずつにやる練習が大切
→ アニメに強い、マンガに強い
→ 海外に力をつけ、視野を広げる
→ 多くのネットが、力になる

Aグループは、「いつも笑顔顔を忘れずに」ということで、組合名を「スマイル組合」とし、組合員の減少、とりわけ美化活動などの組合行事に参加する女性部の減少に、さらに、関係する

＜対策＞

組合の色々な情報と活動の時に伝える

例として チラシなどを作る 配る

支部長 副支部長にも参加してもらう

・知り合い 近所の人に声をかけ、参加してもらう

元組合員にも声をかける

(事例)

税務課(役所)の職員に市のバスを出して
清掃会場まで送迎なし、一緒に時間を
過ごし、昼食をとる (十和田湖)

- 石木田 優子(東北・秋田県組合)
- 飯原 時由子(上信越・新潟組合)
- 斉藤 光江(東京都・新宿文京組合)
- 久保 美枝子(北陸・福井組合)
- 西川 美弥子(東中国・鳥取組合)
- 瓜生 茂子(九州北部・福岡県組合)

フは、組合員に負けず頑張って進むことによって、①組合のメリットを大いにアピールし、若い人の加入を促進する、②きめ細かい情報の提供を行う、③自分自身の健康管理に留意する（長生きをする）などのことについて発表した。

問題点② 組合員数の減?
対応… 自分自身の健康管理
組合のメリット作り
若い人を増員 情報提供

- 箱田 日出子(上信越・長野県組合)
- 鈴木 弘子(東京都・中野組合)
- 吉田 みや子(北陸・福井組合)
- 中上 礼子(関西・宮津組合)
- 川崎 鈴子(四国・松山組合)
- 川越 徳子(九州南部・宮崎組合)

「Bグループは、組合名を「女性らしく美しく咲く力強く美しく咲くコスモス（秋桜）」にあやかって「秋桜組合」とし、高齢化の進行や活動への参加人員の減少などによる「女性部の崩壊した。阻止」をテーマとして話し合った。その結果、①現女性部の健康と美の維持のための活動を重点的に行う、②若い人が参加したくなるような催しを企画する、③販促品などを手作りし、活用することなどを発表した。

☆対策

- 親友は辞員に健康と美の維持
- 若い人に参加したくなるような催しの企画
(清掃活動後の持ち寄り食卓会)
- 手作り販促品の作成 (見本あり)

笑顔は荷物にならないプレゼント

- 広林 敬子(東北・秋田県組合)
- 堀口 牧子(埼玉県・東松山組合)
- 杉山 悦子(神奈川県・湘南組合)
- 平工 泰子(東海・岐阜組合)
- 中原 久江(東中国・鳥取組合)
- 神田 敏枝(九州北部・長崎県組合)